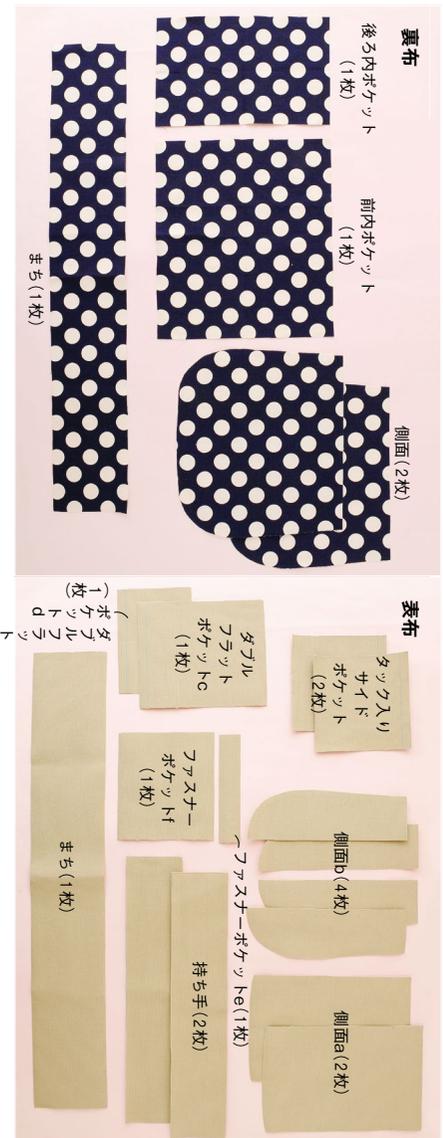


# ポケットいっぱいのトートバッグを作りましょう

## 布を裁ちます

実物大型紙を参照し、指定の縫い代をつけて各パーツを裁断する。



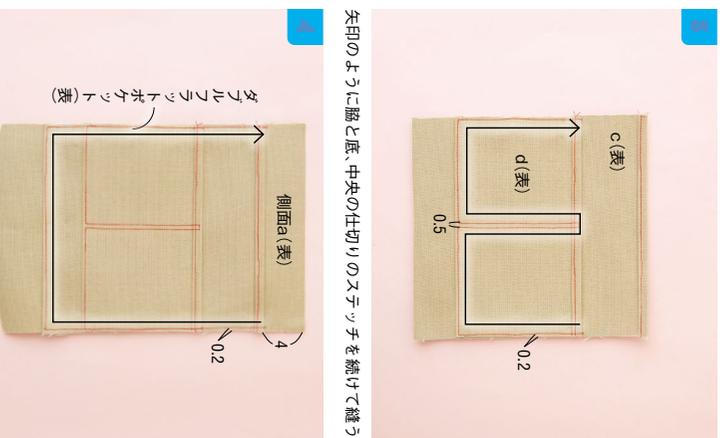
**材料** 側面表布・まち表布・ダブルフラットポケット・タック入りサイドポケット・持ち手用8号帆布100×90cm、側面裏布・まち裏布・内ポケット用90cm四方、20cmフラスナー1本。

### 縫い始める前に

濃い色の帆布はアイロンを当てると色が変わりやすいため、アイロンの使用は必要最低限にとどめ、代わりに爪アロン（爪で折り跡やクセをつける）にしています。

※わかりやすく説明するため、布と糸の色を変えています。

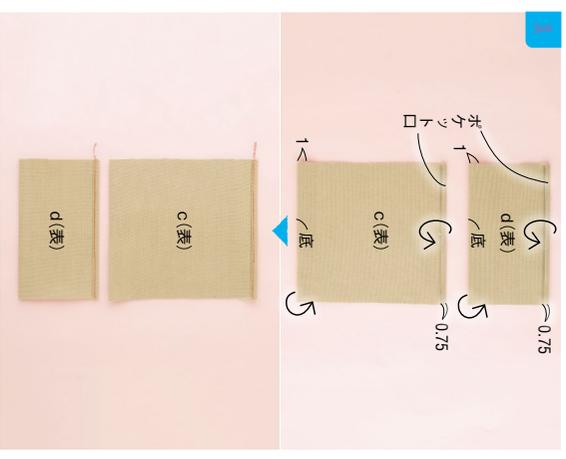
## 1 ダブルフラットポケットを作ります



矢印のように脇と底、中央の仕切りのステッチを縫う。

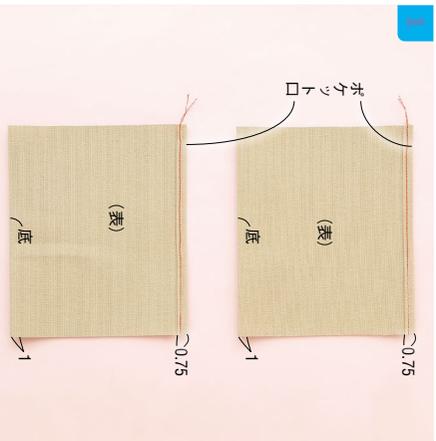


側面a (前面) に重ね、まち針で仮どめして3辺を縫う。



cにdを重ね、まち針で仮どめする。

### 3 タック入り サイド ポケットを 作ります



ダブルフラットポケットと同様に底の縫い代を折り、ポケット口を表側に三つ折りにし、縫う。



中央のタックをたたみ、まち針でとめる。



写真のように縫い代を縫い、タックを仮どめする。



4辺を縫う。



側面a(後ろ面)とbを中表に合わせてまち針で仮どめし、縫う。



ダブルフラットポケットのときと同様にして縫い代を倒し、側面b側のはき目のまわにズワッチをかける。

### 2 フラスナー ポケットを 作ります



e、fの上下の縫い代をアイロンでそれぞれ折る。



eをフラスナーに重ねて縫う。



fもeと同様にフラスナーに重ね、縫う。



側面a(後ろ面)に重ね、まち針で仮どめする。

## 5 後ろ内ポケットを作ります



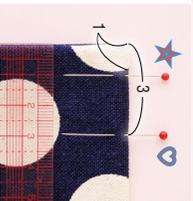
後ろ内ポケットを中表に二つ折りにし、返し口を残して縫う。



角をつまんで返し口から表に戻し、返し口の縫い代を折り込んで整える。



定規を当て、端から1cmと3cmの所にまち針を打つ。



側面に前内ポケットを重ね、まち針で仮止めする。側面の脇がカーブしているため、ポケット底側の端がそろわず角がはみ出るが、そのままOK。



前内ポケットの中央に仕切りのステッチをかける。



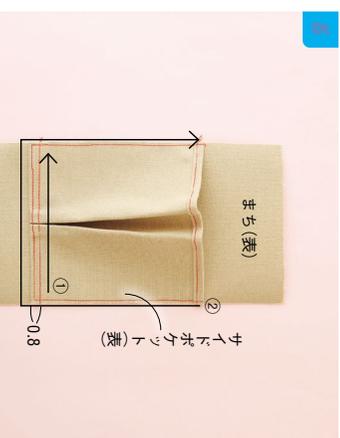
前内ポケット中央にタックをたためるようにして左端を側面にそろえ、左側もまち針で仮止めする。



前内ポケットの3辺を縫い、角のほみ出した部分をハサミでカットし、整える。



ポケットの底の縫い代を折ってまちに重ね、まち針で仮止めする。



ポケットの底を縫い(①)、ポケットの3辺を縫って仮止めする(②)。



もうひとつのポケットも同様に縫い、まちに仮止めする。

## 4 前内ポケットを作ります



前内ポケットを中表に二つ折りにして縫い、表に戻す。

## 7 表袋を作ります



前側面とまちを中縫に合わせ、まち針で仮どめする(底のカーブはまち針を細かく打つ)。



前側面側を見ながら、縫い合わせる(後ろ側面も同様に縫う)。

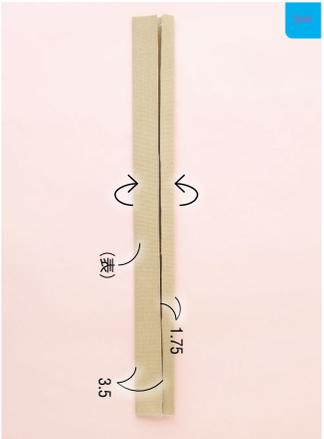


まち側を見ながら、で縫った所をもう一度縫う二度縫いをして、補強する。

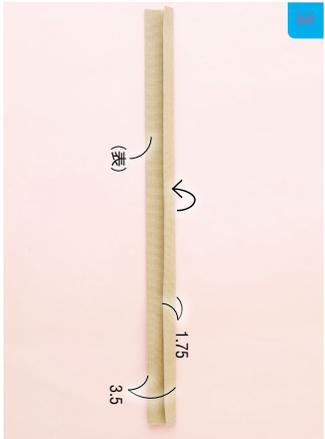


カーブの縫い代に1cm間隔で切り込みを入れる。

## 6 持ち手を作ります



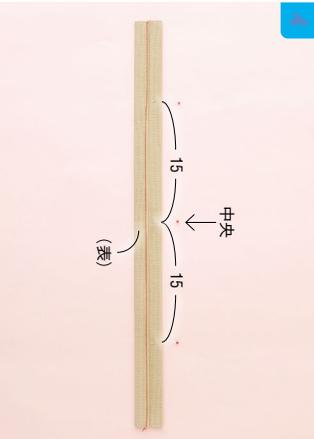
持ち手の長辺をそれぞれ指定の寸法で折る。



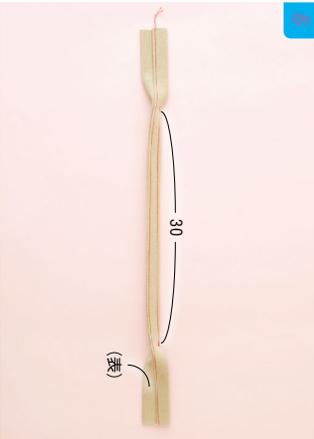
上辺をもう一度指定の寸法で折る。



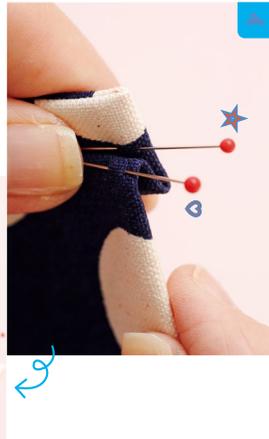
持ち手の中央を縫う。同様にしてもう1本も縫う。



持ち手の中央と、中央から15cmの位置にまち針を打ち、印をつける。



でつけた印と印の間を二つ折りにし、縫う。2本作る。



▼のまち針を★に重ね、まち針を打ち直し仮どめする。反対側も同様に★と▼を重ね仮どめする。



仮どめしたところ。



後ろ内ポケットを側面に重ね、まち針で仮どめする。



後ろ内ポケットの3辺を縫い、ポケットをつける。



裏袋がはみ出さないよう、口まわりを指先でまっすぐに整えながらまち針で仮どめしておく。



仮どめし終わったら、表側から見て裏袋がはみ出していないかもう一度全体的に見て確認する。



口まわりにスリッチをかける。持ち手部分などの厚みがある所は、はずみ車(プーリー)を手で回すなど、ゆっくり縫うといい。



口側の縫い代をぐるりと縫って持ち手を仮どめし、側面a・bの縫い代、まち側の縫い代も縫い押さえる。



表袋と裏袋を中表に合わせて、返し口(片側のまち全て+側面8cm)を残して口側をまち針で仮どめする。表袋、裏袋の口側両端の縫い代は厚みが出ないように、側面側とまち側に互い違いに倒す。



返し口を残して口側を縫う。



返し口から裏に返す。返し口の縫い代は折り込む。



側面は裏側から、まちは表側から当て布をしてアイロンを当て、形を整える。\*まちを当てるときは手のひらにタオルをのせるなどし、スチームアイロンは避けてやけどに注意する。



前側面とまちは中表に合わせて、表袋と同様にまち針で仮どめする。



前側面側を見ながら縫い合わせ(後ろ側面も同様に縫う)、表袋と同様に切り込みを入れる。

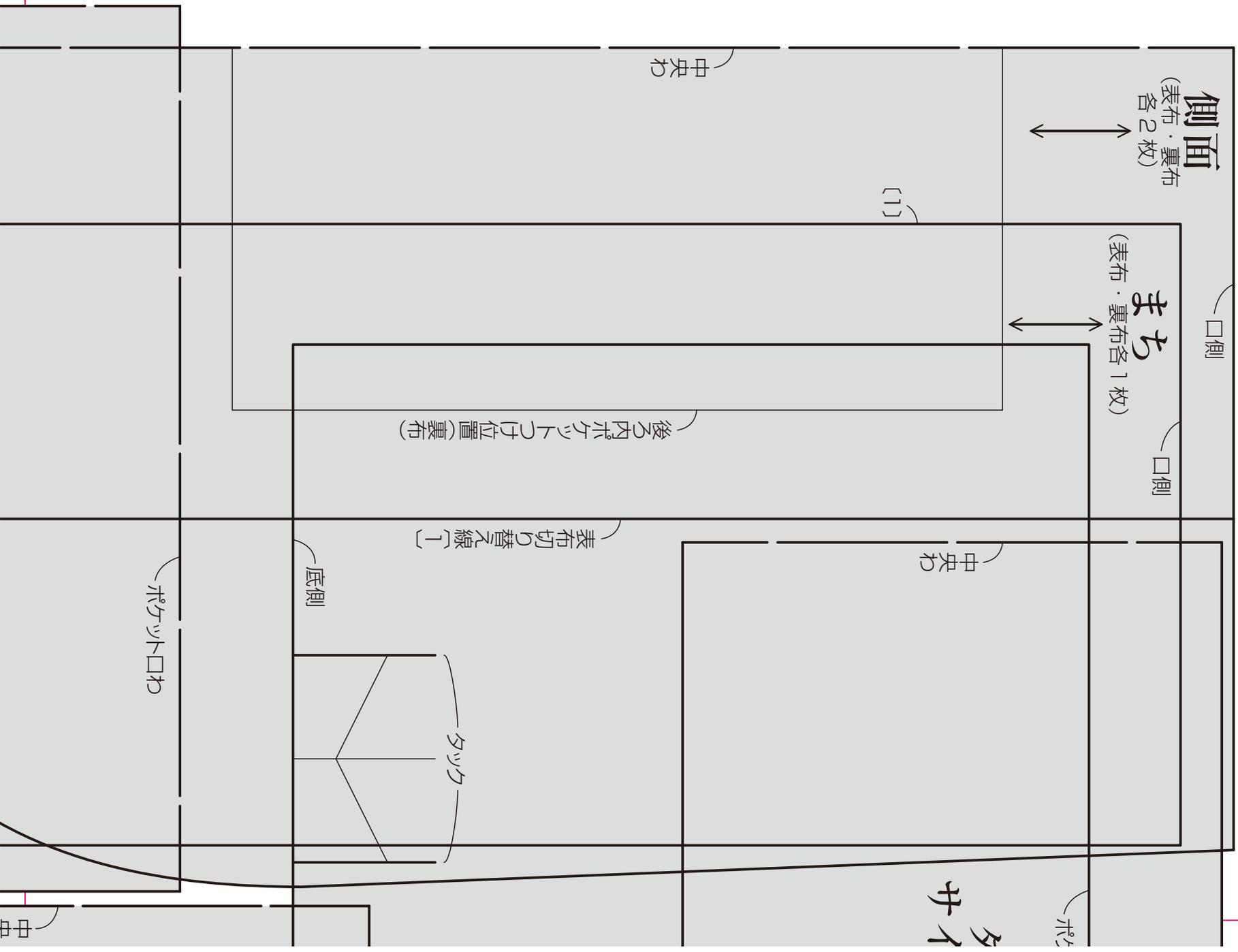
## 9 まとめます

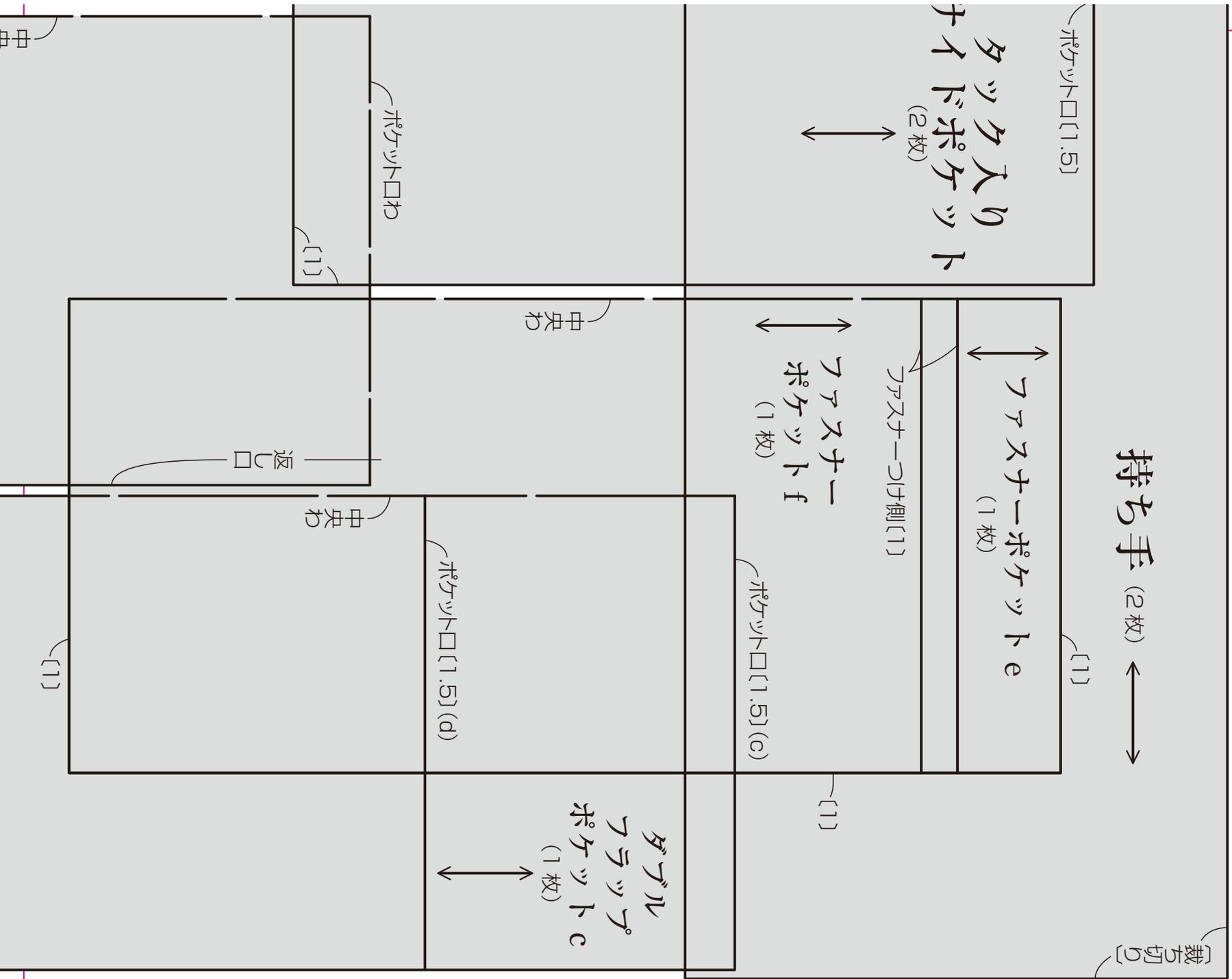


表袋の側面a、bのはぎ目位置にそろえて持ち手を重ね、まち針で仮どめする。

1

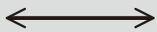
# ポケットいっぱいのおトートバッグ





中央わ

前内ポケット  
(1枚)



〔1〕

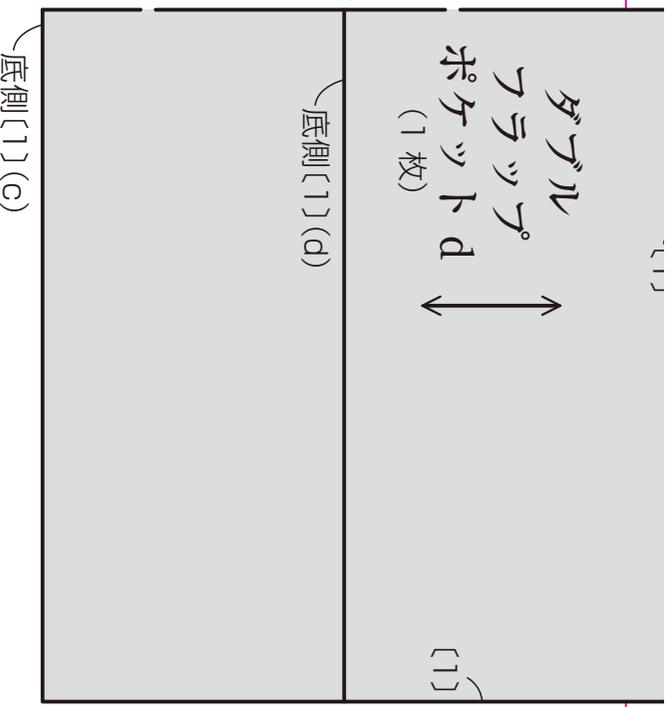
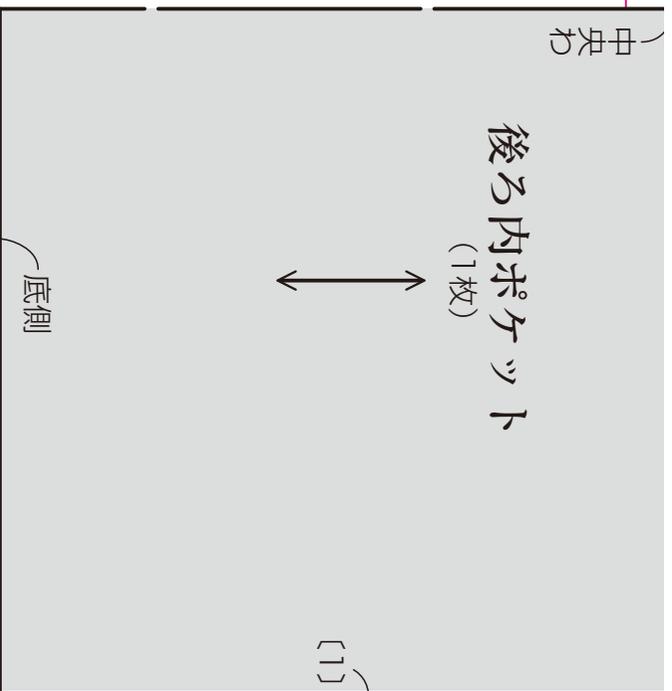
底側

〔1〕

中央わ

底中央わ

3



型紙貼り合わせ図

